

授業者も！参加者も！学ぶ!!高まる!!広げる!! 西部の算数・数学の未来へのバトンをつなぐ

平成30年5月9日(水)

西部教育事務所

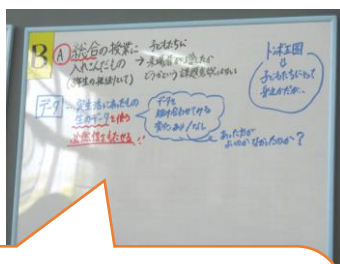
4月25日(水)、授業づくり講座の教材研究を具同小学校で開催しました。新学習指導要領で新たに領域として位置付いた「D：データの活用」の授業内容です。

授業者の中田先生は、当初、様々なグラフの組み合わせを行い、組み合わせたグラフから考察を行う授業展開を考えていました。しかし、教材研究を積み重ねていく中で、子どもたちが知りたいという興味・関心を持つ授業展開にしたいとの思いから、再度、教材研究日までに2案の授業展開を考えられました。

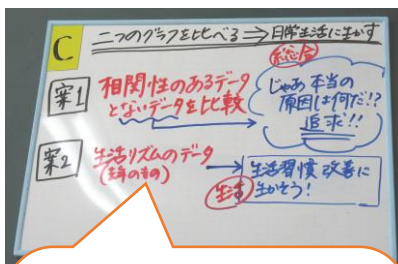
A案は、子どもたちの生活に関連したデータや総合的な学習に関連させることができるデータを活用することで、子どもの興味・関心が高まり、組み合わせた2つのグラフから相関性を見いだす授業展開です。B案は、目盛りの間隔が異なる2つのグラフを比較し、批判的かつ多面的に考察することでデータの特徴を考察する展開です。

この2つの授業展開をもとに、児童の実態や課題に応じた授業づくりについて協議等を行い、新学習指導要領が目指す授業に向けて全員で授業展開の練り上げを図りました。

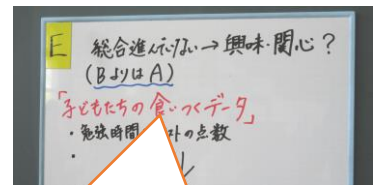
○ グループ協議で出された代替案・授業アイデア等



実生活にあったものや子どもたちの興味をひくデータを活用し、必然性を持たせたい。



生活調べなど、学校で取り組んでいるデータの活用は子どもたちにとって身近で、改善策も考えることができそう。



B案よりA案を考え、子どもたちの食いつくデータを考えてみた。読み取れることはたくさん出てきそうだが、まとめの後どう広げるか。

小中学校課 神岡 真紀指導主事より

- ①課題認識や目的意識を持ち、単元デザインを考えていくこと。
- ②データの活用の価値を意識し目的に応じて何を発進させたいのかを考えること。
- ③子どもに問いをいかに持たせることができるのかかが鍵となるなど助言をいただきました。



「来月の学び場」のお知らせ

5月22日(火) 中村中教材研究会(PM)
5月24日(木) 入野小教材研究会(PM)

5月23日(水) 具同小授業研究会(PM)
5月25日(金) 片島中授業研究会(PM)

ぜひ、参加してみてください！